


第 160 期

中間期 株主通信 2023年4月1日 ▶ 2023年9月30日



芳賀・宇都宮LRTにき電用変電機器等を納入しました

 [関連記事は中面「Special Feature1」へ](#)

当上半期の業績について

当社第160期第2四半期(2023年4月から2023年9月まで)の明電グループの経営環境としては、国内における経済活動の回復や企業業績の改善傾向に加え、グローバルでのグリーントランスフォーメーションに向けた気運の高まりなどを背景に、引き続き重電機器に対する旺盛な需要が見られました。また、資材高騰や各種部材の長納期化といった課題については、状況の悪化はしていないものの、業績に対する影響が引き続き発現しました。

そのような環境の中で、明電グループの連結業績は、売上高1,190億4千7百万円、営業損失は23億6千6百万円、経常損失は16億2千2百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は16億1千6百万円となりました。

明電グループは、様々な環境変化に迅速に対処しつつ、「中期経営計画2024」の基本方針に基づく各戦略を着実に実行しながら、第160期の業績目標達成に向けてグループ一丸となって取り組んでまいります。

株主のみなさまにおかれましては、なにとぞよろしくご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役
執行役員社長

井上晃夫



中間配当について

株主のみなさまへの適切な利益還元のために、株主資本の充実と株主資本利益率の向上を図るとともに、業績に応じた適正な配当を実施するという基本方針に基づき、当期の中間配当は1株当たり25円とさせていただきます。

財務データ

受注高

179,852 百万円

(前年同期 158,188百万円)

売上高

119,047 百万円

(前年同期 111,742百万円)

営業損失

2,366 百万円

(前年同期 4,892百万円)

セグメント別営業活動の状況

電力インフラ事業セグメント

国内主体の電力エネルギーシステム事業及び海外主体の変電事業のいずれも増収となりましたが、特に需要が回復したシンガポールや環境配慮型製品の需要が旺盛な北米などの事業が伸びを牽引し、売上高は前年同期比29.2%増の309億2千2百万円となりました。

社会システム事業セグメント

水インフラ事業は前年度並みの売上となった一方、社会システム事業や電鉄システム事業は大口案件の減少や一部案件における工事進行の遅延などが発生し、売上高は前年同期比10.7%減の333億8千4百万円となりました。

産業電子モビリティ事業セグメント

電子機器事業は半導体市況の落ち込みにより減収となりましたが、自動車メーカーの生産活動の回復が追い風となったEV事業や、電動カソリューション事業及びモビリティ&S事業は増収となり、売上高は前年同期比8.7%増の385億1千9百万円となりました。

フィールドエンジニアリング事業セグメント

保守サービスについては、堅調な需要が継続していることに加えて、部材の長納期化を受けて前年から後ろ倒しされた案件の売上計上があったことなどから、売上高は前年同期比11.0%増の141億1百万円となりました。

不動産事業セグメント

売上高は前年同期比0.5%減の16億1千4百万円となりました。

その他の事業分野

電気化学計測機器や電気絶縁材料の製造・販売、従業員の福利厚生サービス、物品販売など、報告セグメントに含まれない事業については、売上高は前年同期比1.1%減の76億8千4百万円となりました。

製品・サービス／サステナビリティ

芳賀・宇都宮LRTにき電用変電機器等を納入しました

国内における75年ぶりの新たな路面電車として2023年8月26日に開業を迎えた、栃木県宇都宮市と芳賀町の間を結ぶ次世代型路面電車システム「芳賀・宇都宮LRT」に、多数の変電機器を納入しました。今回のプロジェクトでは、省メンテナンス性に優れた真空遮断器（VRシリーズ）や、冷媒に純水を使用した環境配慮型のヒートパイプシリコン整流器、安全性に優れたML形直流高速度遮断器などに加え、全変電所を遠隔制御する電力管理システムを採用いただきました。



納入した変電機器

このLRTは、宇都宮市が掲げる「交通未来都市うつのみや」のもと、便利で安心な交通インフラとしての役割とともに、自動車依存の緩和や高齢者の自立した生活、企業活動への後押しといった社会メリットを創出し、サステナブルなまちづくりを担うことが期待されています。明電グループは今後も、これまで培ってきた技術と経験を活かして、鉄道の構築・発展を支えることで、信頼性が高く、環境負荷が少ない交通インフラがもたらすウェルビーイング及びカーボンニュートラル社会の実現に貢献してまいります。

イノベーション

「両利きの経営の推進」により 新規事業が実を結びつつあります

超高濃度・高純度オゾン水生成装置の販売を開始

当社独自の方式で業界トップクラスである濃度400mg/Lのオゾン水を作り出す「超高濃度・高純度オゾン水生成装置」の販売を開始しました。本装置は、明電グループが20年以上前から研究を続けてきた「ピュアオゾン」の技術を応用したものです。イノベーションを促進し、新たな事業の創出を目指す取組みである「未来テーマ」のアイデアから開発・製品化を行いました。

本装置から生成される超高濃度・高純度のオゾン水は、半導体の洗浄工程や金属の脱脂洗浄工程などへの適用が見込まれます。また、オゾン水は最終的に無害な水と酸素に分解されるため、従来の薬液処理と比較して、環境負荷の低減や排水処理のコスト負担軽減につながることを期待されています。今後は量産機の開発や用途拡大を図りつつ、業容の拡大を目指します。



ピュアオゾンの発生装置



機器別の電力量トレンド分析画面

【IoTによるモータの解析・遠隔監視システム】を初受注

当社が2020年に出資を行ったポーランドのスタートアップ企業Elmodis Sp. z o.o.との協業の成果として、「IoTによるモータの解析・遠隔監視システムのサブスクリプションサービス」を三井住友海上火災保険株式会社から初受注しました。本サービスは、Elmodis社が欧米のポンプ設備向けに展開する解析・遠隔監視技術と当社のモータ事業のノウハウを融合しています。「設備の解析」と「CO₂・エネルギーマネジメント」の機能を組み合わせたサービスであり、お客様設備の健全度の数値化を行うほか、機械の消費電力量やCO₂排出量のリアルタイムモニタリングとあわせ、効率の良い運転条件やその条件下での削減効果のシミュレーションを実現します。

明電グループは今後も、より豊かで住みよい未来社会の実現に貢献するため、新たな価値の創造にチャレンジし続けます。

ウェブサイト、明電舎レポート2023のご紹介

2023年4月にリニューアル公開した当社のウェブサイトでは、明電グループの事業概況や財務情報、サステナビリティに関する取組みなど、各種情報を積極的に公開しています。常設コーナーである「明電舎を知る」では、YouTube Works Awards Japan 2023(主催:Google)において、Breakthrough Advertiser 部門及びグランプリを受賞したSNS広告「電気よ、動詞になれ。」ピクセルアート篇なども公開しておりますので、ぜひ一度お目通しください。

また、2023年9月に「明電舎レポート2023」(統合報告書)を発行しました。今年度版は、巻頭にて新旧社長による新体制移行にかかるメッセージを掲載しているほか、トップメッセージとして、新社長 井上の就任にあたっての決意や中期経営計画2024完遂に向けた展望、中長期的な価値創造に向けた取組みなどについて、お伝えしています。このほか、全6篇で構成した「価値創造ストーリー」では、明電グループが掲げるありたい姿・ビジョンの実現のために大切にしている価値観や従業員一人ひとりが心に抱く「MYビジョン・MYチャレンジ」が、プロジェクトを通じて体現されている姿を、お客様やお取引先からの視点も含めてご紹介しています。

なお、明電グループのESG・サステナビリティに関する情報は、当社ウェブサイトの「明電グループのサステナビリティ」ページにて公開しています。

企業理念の実現に向けた当社グループの様々な取組みをぜひご覧ください。



当社ウェブサイト



明電舎レポート2023



<https://www.meidensha.co.jp>

明電舎

検索



会社概要 / 株式情報 / 株主メモ (2023年9月30日現在)

会社概要

商号 株式会社明電舎
 英文社名 MEIDENSHA CORPORATION
 本社所在地 東京都品川区大崎2-1-1 ThinkPark Tower
 電話 (03) 6420-8100
 創業 1897年(明治30年)12月22日
 設立 1917年(大正6年)6月1日
 従業員数 9,955名(連結)

株式情報

発行可能株式総数..... 115,200,000株
 発行済株式の総数..... 45,527,540株
 株主数..... 14,561名

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 基準日 定時株主総会・期末配当 3月31日
 中間配当 9月30日
 定時株主総会 6月
 公告方法 電子公告
https://www.meidensha.co.jp/ir/ir_08/index.html
 上場証券取引所 東京・名古屋
 単元株式数 100株
 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
 株主名簿管理人事務取扱場所 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (郵送先)
 電話照会先 ☎0120-782-031 (受付時間 平日9:00~17:00)

